

むら

共生・協働の農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL.17

高隈の恵みを活かした人々が集うむらづくり ～高隈地区コミュニティ協議会～

県では、農村の活性化を目指し、「人材の育成」「農村環境の保全」「新たなむらづくり」など、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力を取り入れた「共生・協働の農村（むら）づくり運動」を推進しています。

県内各地で、地域の特色を活かした取組が行われ、令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、高隈地区コミュニティ協議会（鹿屋市）が農林水産大臣賞を受賞しました。



鹿児島県農政部農村振興課

令和4年度共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、地域資源等を活用した魅力あるむらづくりに取り組んでいる地区等を表彰しています。受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページに掲載しています。

鹿児島県共生・協働の農村づくり運動表彰式



農村集落部門

高隈地区コミュニティ協議会(鹿屋市)

おたすけ隊「あったかくマン」(有償ボランティア)を創設し、住民の困りごとを解決できる仕組みを構築されています。

また、小中学校等を対象にした農作業体験で「たかくまコミュニティ米」を生産し、そのブランド力を高めるために、鹿児島女子短期大学と連携したおむすびコンテストを企画・開催されています。



功労者部門

今村 満義 氏(さつま町)

さつま町一ツ木地区のリーダーとして、誰もが参加し、楽しく農業を続けられる集落を目指したむらづくり活動に永年にわたり尽力されています。

また、「集落ぐるみの農業生産活動」の実現に向け、地区内で機械や農作業の共同化や集落営農法人への農地集積8割の達成に貢献されています。





令和5年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
農林水産大臣賞 受賞
 高隈地区コミュニティ協議会（鹿屋市）



令和5年12月11日 熊本地方合同庁舎

豊かなむらづくり全国表彰事業
 九州ブロック表彰式



～高隈の恵みを活かした人々が集うむらづくり～

世代を問わず多くの人を巻き込みながら、地域の課題を共助という形で解決するため、様々な活動を展開

休耕田を再生し、「たかくま
 コミュニティ米」を生産



地域資源を活用した滞在と体験を
 パッケージ化したツアーを実施



有償ボランティア「おたすけ
 隊あったかくマン」による小
 さな困りごとへのお手合い



連携協定を締結した鹿児島女
 子短期大学とのおむすびコン
 テストの開催



地元の食材で作られた
 「山菜弁当」をツアー客
 に販売



かぎひ
 伝統行事「鉤引き祭り」

令和5年度「かごしま農村創生塾」を開催

県では、地域資源を有効に活用して、「ひとづくり」や「しごとづくり」など地域の活性化を牽引するむらづくりリーダーを育成しています。

第1回

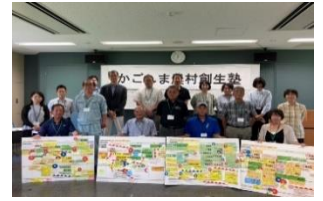
将来の人口予測からムラを考える(令和5年7月25日～26日)

- 講演 テーマ：「農村に人と仕事を取り戻す」
 - ・講師 (一社) 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山浩氏

<主な内容>

人口予測プログラムを用いて地域を診断し、将来の人口予測を行うことが重要。

- 参加者によるワークショップ(演習)
 - ・地域人口と農業就業者の人口分析
→今後の予測と安定化に向けた目標の設定
 - ・地域人口の維持に向けた「人口の安定化シナリオ」を作成した上で具体的な取組を検討し、各地域ごとに発表



地域の人口の安定化へ向けた「シナリオ」完成

第2回

むらづくり活動推進研修会への参加(令和5年11月20日)

テーマ：「地域の“今”と“これから”-不足する人材，組織の再編成について-」

- 講演 「愛する明治・愛あるイメージをイメージし“いい明治”に」
 - ・講師 大分県竹田市 コミュニティひろばi-meiji 会長 酒井 恭喜氏

<主な内容>

- ・急激な高齢化・人口減少，組織間の横連携がとりづらい，公民館や自治会の本来の機能を発揮できていないといった課題が見つかり，組織を再統合しようと活動を開始。
- ・話し合い活動やアンケートを重ね，合意形成にかなりの時間を費やした。
- ・組織内では，女性を中心とした企画委員会を設置。公募で委員を募り，若い方も参加している。

●パネルディスカッション

- ・コーディネーター：鹿児島県農業開発総合センター普及情報課
 - ・パネラー：
 - ・コミュニティひろばi-meiji 会長 酒井 恭喜氏
 - ・高隈地区コミュニティ協議会 副会長 黒木 次男氏
 - ・北山校区コミュニティ協議会 会長 山元 英美氏
 - ・(公社)鹿児島県農業・農村振興協会
- むらづくりプランナー 寺脇 孝子氏



第3回

地域の取組事例に学ぶ(令和6年3月6日～7日)

●現地研修(1日目)

- 研修先：竹子地区コミュニティ協議会
- ・竹子地区コミュニティ協議会の取組について
 - ・現地視察

●参加者によるワークショップ(1日目)

「自分が目指すリーダー像や今後の課題等の共有」

●今後の取組に向けて(2日目)

- ・これまでの受講内容を踏まえ，地域で取り組んだことや今後取り組みたいことについて
- ・今後の抱負

活かそう！むらの宝★ビジネス応援事業の取組地区紹介

地域資源を活用した農村の新たなしごとづくりのスタートアップを支援しています。

①南方まちづくり協議会（鹿児島市）

○取組概要

- ・水車を利用したカフェ設立に向けた取組
- ・水車動力による米粉等を原料とした加工品の開発



②農事組合法人たべた田んぼアート実行委員会（南九州市）

○取組概要

- ・田んぼアートへの新品種の導入
- ・カライモアメづくりに係る各種取組



③竹子地区コミュニティ協議会（竹子っ好調会）（霧島市）

○取組概要

- ・アンテナショップ（東京）における竹子地区の特産品等の販売
- ・地域食堂における雇用の創出



④美人草（宇検村）

○取組概要

- ・地元産の農産物（ヨモギ等）を活用した加工品の生産・加工



鹿児島大学と連携したむらづくり実践支援

大学と地域が連携し、農村資源を活かした地域活性化へ向けた方策等を検討する支援を行っています。

実施地区：伊佐市平出水校区

大学による地域課題や地域資源の実態調査

現地調査

- ・農村生活の体験及び地元の方との意見交換
- ・新規就農者や移住者、大規模稲作経営者等へのインタビューによる地域課題の情報収集

現地報告会

- ・地区の現状及び課題の分析結果
- ・鹿児島大学生からの提案
「地域資源を活かした地域活性化戦略づくりの提案」

大学からの地域活性化戦略づくりの提案

- 既にありふれている農作業体験・地域住民との交流イベントを差別化

(例)

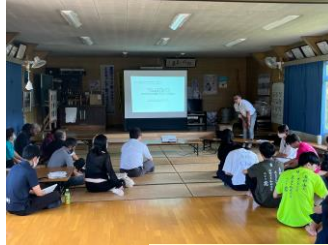
- ・空き屋・古民家を活用した宿泊施設
- ・田舎暮らしや地域農産物・ジビエ体験などの食体験
- ・地域の歴史・文化・環境を巡る魅力発見体験
- ・休憩・交流・購買に活用できるサロン・カフェ等拠点整備

- 新たに収益事業運営組織を形成し、資源活用や生産補完、生活扶助といった機能を有する既存の地域運営組織と連携し、収益の還元を図る

(例) 田んぼカフェの運営



現地調査の一環として地域行事に参加



現地報告会の様子（学生からの提案）



ふるさと水土里の探検隊

鹿児島国際大学と連携して集落点検を実施し、地域課題の整理や学生による地域活性化策の提案等の支援を行っています。

第 1 回

第 2 回



・若者の視点を交えた集落点検

学生達が、地域の方々と話をしながら、一緒に集落点検を実施

・地域課題の整理

集落点検の結果から、地域の「強み」と「弱み」を整理

・地域活性化策の提案

参加した学生から、学生による新たな視点を取り入れた「強み」の強化策、「弱み」の改善策を提案し、地域活性化の支援につなげる。

農村型地域運営組織（農村RMO※）形成取組地区紹介

※農村型地域運営組織（農村RMO）とは、複数の集落の機能を補完して、農用地の保全、地域資源の活用、生活支援など、地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと

モデル形成支援地区の活動

○天城町地域づくり協議会（R4～）

めざす姿：みんなでできる元気な地域づくり

分野	概要
全体	<ul style="list-style-type: none"> 先進事例調査 将来ビジョンの作成
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民への農用地保全活動の周知・啓発 町内スポーツ少年団と連携した保全活動の実践 景観作物の選定
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 加工品、レシピ開発委託（馬鈴薯、獣肉） 地域資源に関する消費者アンケート実施
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の買い物支援に関するアンケート調査（二京、当部、与名間集落） 生活支援に関する部署との連携



○北山校区コミュニティ協議会【始良市】（R5～）

めざす姿：住んで良かったと実感できる地域の確立

分野	概要
全体	<ul style="list-style-type: none"> 現地調査及び地域リーダーへの現状説明 将来ビジョン策定のため住民アンケート実施
農用地保全	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地の活用方法検討 ヒサカキの栽培実証
地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 黄金北山筍の加工・販売
生活支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域内生活支援必要者の実態調査



多面的機能支払交付金(水土里サークル活動)について

農業・農村は、食料の生産のほか、国土の保全や水源のかん養、良好な景観の形成などの多面的機能を有しています。

県では、これらの多面的機能の維持・発揮を促進するため、多面的機能支払交付金を活用した「水土里サークル活動」により、地域共同で行う農用地や水路、農道等の保全活動を支援しています。

※水土里サークル活動は、鹿児島県の愛称です。

【近年の農村地域】

- ・過疎化
- ・高齢化
- ・混住化

が進行

何とかしたい!

- ・集落機能の低下
- ・地域共同活動が困難

- ・多面的機能の発揮に支障
- ・水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手の負担増加の懸念

多面的機能支払交付金は、多面的機能を支える共同活動を支援する『**農地維持支払**』と、地域資源（農用地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動や施設の長寿命化のための補修・更新等の活動を支援する『**資源向上支払**』で構成されています。

【農地維持支払】

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ
- ・農道の路面補修
- ・地域資源保全管理構想の作成 など



水路の泥上げ



農道の路面補修

【資源向上支払】

- ・植栽による景観形成
- ・農村文化の伝承活動
- ・施設の長寿命化の補修・更新等 など



水路の補修



農村文化の伝承

- ・農業・農村の有する多面的機能の適切な維持・発揮
- ・水路、農道等の管理を地域で支え、担い手への農地集積を後押し

○活動組織の紹介

中名校区農地保全会（鹿児島市喜入中名町）

～交流人口の拡大により地域を活性化～

1 地域及び組織の概要

中名校区農地保全会の活動の中心である喜入中名町は、鹿児島市の南部に位置しており、過疎化・高齢化が進行している農村地域です。

当組織では、荒廃農地の増加を抑制するため、令和4年度に水土里サークル活動組織を立ち上げ、事務作業は地元企業に委託しています。



さつまいもを植栽

2 特徴的な活動内容

① 農業体験活動

地元でとれたさつまいもで「オリジナル焼酎」を作る事業を企画

長年荒廃農地となっていた畑を再生し、地元住民とプロサッカーチームの選手やスタッフとが交流しながら、さつまいもを栽培



水路周辺の保全管理状況

② 農用地の保全活動（防草対策）

各集落ごとに草刈り活動を実施。令和5年度には新たな試みとして「ヤギの放牧」を行った結果、保全管理が省力化

③ そばづくり

荒廃農地の有効活用としてそばづくりを実施。また、景観形成として「赤そば」の植栽も実施



赤そばを植栽

令和5年度水土里サークル活動シンポジウムを開催

水土里サークル活動の更なる充実・強化を図るとともに、共同活動を契機とした地域づくりへの発展に資することを目的に、水土里サークル活動シンポジウムを令和5年8月30日(水)に開催しました。

●情報提供

- ・ 田んぼダムの取組について
- ・ 県内の農村RMOの取組について

●講演 「農村RMOのススメー多面的支払からの地域再生の土台づくりー」

・ 講師 大分大学経済学部 准教授 山浦 陽一 氏

〈主な内容〉

地域を取り巻く環境の変化や人材が不足する中で農村を活性化するためには、多面的機能支払だけでなく「農村型地域運営組織（農村RMO）」の活用についても推進する必要がある。

●事例発表

- ・ 唐隈地区の自然を守る会(長島町)
- ・ 始良市水土里広域協定(始良市)
- ・ 小島の里環境保全会(屋久島町)



棚田地域の振興

県では、棚田地域の保全活動に対する理解や多様な主体による活動への参加を推進するために、都市住民等を対象とした棚田セミナーを開催しました。

令和5年11月23日(木:祝日)に、「つなぐ棚田遺産※」に認定されている指宿市尾下の棚田にて、棚田の持つ多面的機能を発見してもらうバスツアーを開催！

※「つなぐ棚田遺産」とは、

棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解促進を図るため、農林水産省が棚田地域の振興に関する取組の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定。

鹿児島中央駅

尾下の棚田

鹿児島中央駅



～まずは棚田を
のんびり散策～

棚田のお米で、
かまど炊飯体験！



お昼からは
さつまいも収穫体験

参加者がセミナーの
様子をSNSで発信！



つながる♥（おもしろい）農村体験事業

地域資源を活用した交流人口の拡大や農村地域の活性化を図るため、ホテル等の宿泊施設を拠点として、本県の農産物や農村の魅力を知ってもらおう農村体験プログラムの開発や情報発信を支援しています。

事業のイメージ

体験プログラムの開発

ホテル，旅行事業者等



連携



農村地域
農業者

試行

フィードバック

効果

- ・ 農村地域とホテル等の連携が加速
 - ・ 農村地域への関心の高まり
- 【農村地域】
- ・ 新たな客層の獲得による交流人口の拡大
→ 農村地域の活性化
- 【ホテル等】
- ・ ここでしか味わえない体験による宿泊客の増加

モニターツアー

【農村地域での体験】
収穫体験など、旬の農村を体験



【ホテル等での宿泊】



農村地域での体験とリンクした食事で、特別な食事体験を提供！

つながる Tourism モニターツアーの様子

また来たくなる濃密たるみず！
特産品大集結BBQ&「つらさげ芋」作業体験1泊2日

1日目

焚き火でバームクーヘン作り



2日目

手掘り体験！



さつまいもの吊り下げ体験



オリジナルモーニングBOX



畑の真ん中でさつまいもランチ



薩摩川内市特産品！
金柑狩りと金柑お菓子作り体験1泊2日の旅

1日目

金柑収穫体験



金柑蒸しパン作りと
ホテルディナーで金柑ドリンクの提供



2日目

直売所で地域の農産物や特産品GET！いちご狩り体験も！



グリーンツーリズム・農泊[※]の取組について

※農山漁村滞在型旅行



県では、農村地域と地域内の飲食店や観光業者等との連携を強化し、旅行者の安心・安全な受入体制の整備や地域資源を活用したグリーン・ツーリズム、農泊の取組を推進しています。

農泊の推進

農泊シンポジウムの開催

農泊に取り組む地域の機運醸成を図るため、体験型教育旅行をテーマに、先進的な取組事例を学び、これからの取組についてパネルディスカッションを行いました。



一般社団法人 山と海の郷さいかい
橋本 ゆうき氏による講演



パネルディスカッション
の様子

農泊実践研修会の開催

持続的な農泊への取組を促進するため、地域内の異業種等との連携や、他地域との連携に向けた研修会を開催しました。



無料 400名限定
かごしま
グリーン・ツーリズム
フォーラム in 鹿屋市

対象：県内グリーン・ツーリズム実践者及び関係者
（他地域からの参加も歓迎します）

日時 令和6年2月19日(月) 会場 リナステイカの家
13:30-16:00 (鹿屋市民交流センター)
〒895-0009 鹿児島県鹿屋市大平1-1-1

実施概要
● 受付 (12:30-13:30)
● 開会 (13:30)

基調講演 13:40-
食で伝えよう！郷土の心と伝統 NPO 法人農食育研究会 理事 千原しのぶ氏

分科会 14:40-
私が伝えたい
料理と言葉 [本当に安全ですか？]
リスクマネジメント
勉強会 令和5年度の活動を
つなぐの課題共有

農食育研究会(主催)・鹿屋市(共催)・NPO法人農食育研究会(協賛)・鹿屋市観光協会(協賛)・鹿屋市観光協会(協賛)

NPO 法人農食育研究会
千原しのぶ 氏
(株) かごしまツーリズム代表
上代悠久 氏
かごしまグリーン・ツーリズム協議会
東川隆太郎 氏

● 主催会・開会(15:40-16:00)

農泊実践者の育成 インバウンドの受入拡大

農泊実践者の育成を図るため、地域のマネジメント力や、体験プログラムの企画等に関する研修会を開催しました。

また、インバウンド等の受入を拡大するため、モニターツアーを実施しました。



各種研修会の開催

旅行者の安心・安全な受入体制整備

安心・安全で継続的な受入体制づくりを推進するため、農泊の実践者を対象に、リスクマネジメント講習会を実施しました。また、体験型教育旅行の受入の安全性を確保するためのガイドラインの遵守状況調査及び指導を実施しました。



共生・協働のむらづくり通信 第17号（令和6年3月発行）

編集・発行：鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL：099-286-3108

鹿児島県ホームページ（むらづくり，グリーン・ツーリズム）

<https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/tsuusin/index.html>

表紙写真：上別府の棚田（高隈）

裏表紙写真：つながる🌿 Tourism モニターツアー（垂水）